高尾山慶賛会入会のおすすめ

「物で栄えて心で滅ぶ」という言葉は、昨今の世相を端的に表現しているようです。

経済発展の代償として、公害、交通禍、その他様々な弊害が生じ、経済的には豊かになりながらも、心は貧しく刺々しくなり、社会全体が人々の「迷いの心」で覆われております。かかる時代にこそ、心に「うるおい」を与える存在として信仰心が必要であり、信仰の温かい心を通して愛情、尊敬、感謝などの心を養い、人間味豊かな社会を建立したいものと念願しております。

高尾山は現在ミシュラン三ツ星を頂き、『**心のふるさと祈りのお山、世界に冠たる高尾の自然**』と称せられ、多くの参拝者が来られています。

こうした恵まれた自然環境の中にある薬王院には、古来より僧侶だけではなく、広く一般からの篤志家が参加して行われる、多くの年中行事が伝承されております。**高尾山慶賛会**は、こうした各種の行事を奉賛し、以て御本尊を尊信し、その御加護を仰ぎ明るく温かく、そして豊かな生活を送ることを目的とするものであります。

ぜひとも茲に広く高尾山慶賛会員を募り、ご加入ご協賛を頂き、ご本尊様の威神力に浴されますよう念願するものであります。

侍衣装を着た慶賛会の皆様

お申込・問合せ

年会費　一口五千円

申込方法　お手数ですが「高尾山慶賛会係」までお問い合せ下さい。申込用紙を発送致します。

〒一九三-八六八六
八王子市高尾町二一七七
高尾山薬王院「慶賛会事務局」
TEL　〇四二-六六一-一一一五
FAX　〇四二-六六四-一一九九

高尾山内八十八大師巡拝のご案内

多くの方が参拝できますよう以下のように二つのグループに分け、途中（山上十一丁目茶屋前第十七番札所）で合流し、いっしょに巡拝いたします。

A、従来通り、不動院から歩く。

B、ケーブルを利用する。

（琵琶滝周辺のお大師様は巡拝できません。）

※ケーブルを利用する場合、代金は自己負担となります。

日時　五月十日（火）

行程　山麓不動院→琵琶滝コース→琵琶滝→仏舎利塔法楽→本堂（御護摩修行）→坊入（昼食）→下山（一号路）→不動院着（法楽）→解散

参加費　五千円（昼食代、保険料含む）

集合場所　山麓不動院（八時半集合）

申込方法　ハガキに郵便番号、住所、氏名、生年月日、性別、電話番号を明記の上、左記までお申し込み下さい。

締め切り　四月二十八日（木）

〒一九三―八六八六
八王子市高尾町二一七七
大本山高尾山薬王院　八十八大師係

＊電話でのお申し込みは承りかねますのでご了承下さい。

＊申し込み締め切り後、請け書（行程表・持ち物等）をお送り致します。

高尾山春季大祭

大護摩供法要（大本堂）
柴燈大護摩供（有喜苑）

四月十七日(日)

高尾山春季大祭 お稚児募集

昔から「子宝」という言葉がありますように、ご家庭は子孫の成長によって、子々孫々に受け継がれ発展していくものです。私達が次代を託するという意味では、子供は文字通り宝であります。

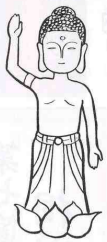
皆様方のお子様が高尾山御本尊飯縄様の御加護の下、健康に、逞しく成長されますよう、お稚児練り供養にご参加をお勧め申し上げます。

期日　四月十七日（日）

定員　百名（定員になり次第締め切らせて頂きます。）

参加料
お稚児　七千円
付添人　千五百円

お申込・お問い合わせ
☎〇四二-六六一-一一一五
高尾山お稚児係まで



高尾山の昆虫

アオバセセリ

77

よく蝶と蛾の違いについて聞かれることがありますが、どちらも同じ「鱗翅目」に属し、明確な定義で区別することは困難です。

一般的に蝶は昼行性で綺麗、蛾は夜行性で汚いというイメージが定着していますが、すべてがそうではなく、地味な蝶、綺麗な蛾も少なくありません。

その蝶の仲間にセセリチョウという仲間がいて、蝶と蛾の中間的な形質を持ち、早朝や薄暮によく飛翔するという特異性を持ちます。

セセリチョウは全般的に小型で地味な色彩の種が多い中、アオバセセリ（青羽挿）は例外で、大型且つ、青緑色の翅の末端がオレンジ色に彩られる、美しいセセリチョウです。

個体数はそう多くありませんが、高尾では五月中旬くらいのヒメジュオンの花に、吸蜜に来るのを観察できます。

非常に飛ぶのが早く、しかも重量感もありますので、目立つ存在です。

蝶と蛾の中間をいく形態と生態を併せ持つセセリチョウの中では、抜群の美麗種である本種は秀逸であり、蝶と蛾が同じ仲間であることを、私たちに知らせてくれているのかも知れません。

・（文　松島　孝・撮影　佐伯　元行）